社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン入門	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠA	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠB	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠC	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠD	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡA	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡB	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡC	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡD	○					○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通	共通科目	KGUｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ応用Ⅰ	◎					○		○			○	○	○	○	
全学共通	共通科目	KGUインターンシップⅠ（事前指導）															
全学共通	共通科目	KGUインターンシップⅡ（実習）															
共通	キリスト教科目	キリスト教学a	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
共通	キリスト教科目	キリスト教学b	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
共通	キリスト教科目	聖書の思想（社会）	○					○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
共通	キリスト教科目	キリスト教と現代（社会）	○					○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
共通	教養科目	哲学	○	○				○		○	◎	○	○			○	
共通	教養科目	歴史学	◎	○		○		○	○	○	○		○			○	
共通	教養科目	経済学	◎	○				○		○	○		○	○		○	
共通	教養科目	政治学	◎	○				○		○	○		○	○		○	
共通	教養科目	法学	◎	○				○		○	○		○	○		○	
共通	教養科目	教育学	◎	○				○		○	○		○			○	
共通	教養科目	心理学a	◎	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
共通	教養科目	心理学b	◎	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
共通	教養科目	文学a	○	○				○	○	○	○		◎	○		○	
共通	教養科目	文学b	○	○				○	○	○	○		◎	○		○	
共通	教養科目	文学c	○	○				○	○	○	○		◎	○		○	
共通	教養科目	芸術学	○	○				○		○			◎			○	
共通	教養科目	日本国憲法a	○		○			○			○		○	◎		○	
共通	教養科目	日本国憲法b	○		○			○			○		○	◎		○	
共通	教養科目	多文化世界を学ぶ	○	○		○		○	○	◎		○	○	○	○	○	
共通	教養科目	ことばの科学a	◎	○				○	○				○			○	
共通	教養科目	ことばの科学b	◎	○				○	○				○			○	
共通	教養科目	現代社会を学ぶa	○	○				○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
共通	教養科目	現代社会を学ぶb	○	○				○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
共通	教養科目	現代社会を学ぶc	○	○				○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
共通	教養科目	現代社会を学ぶd	○	○				○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
共通	教養科目	ジェンダー論（社会）	○	○				○	○	○	○		○	◎	○	○	
共通	教養科目	メディア論	◎	○				○	○	○	○	○	○	○		○	
共通	教養科目	生活と福祉	○	○				○	○	○	○		○	◎	○	○	
共通	教養科目	障害と社会	○	○				○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
共通	教養科目	総合講座Ⅰ（建学の精神を学ぶ）	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	教養科目	総合講座Ⅱ（ボランティア論）	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
共通	教養科目	地球と環境	◎	○				○		○	○		○	○	○	○	
共通	教養科目	人間と環境（社会）	◎	○				○		○	○		○	○	○	○	
共通	教養科目	科学史	◎	○				○		○	○		○			○	
共通	教養科目	数学	◎	○				○					○			○	
共通	教養科目	論理学	◎	○				○			○	○	○	○		○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶa	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶb	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶc	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶd	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶe	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	文章を学ぶf	○					○		○		○	◎	○	○	○	
共通	リテラシー科目	手話1	○	○			○	○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	手話2	○	○			○	○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1a（バドミントン他（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1b（バレーボール他（室内スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1c（バドミントン他（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1d（室内スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1e（屋外スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1f（屋外スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1g（バドミントン他（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1i（バレーボール他（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－1H	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2a(バドミントン他(室内スポーツ	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2b（多種目（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2c(バレーボール他(室内スポー	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2d（室内スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2e（屋外スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2f（屋外スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2g(バドミントン他(室内スポーツ	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅠ－2i（室内スポーツ）	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	健康スポーツⅠ－2H	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－1a(バレーボール他(室内スポー	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－1b（テニス他（屋外スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－1c（多種目（室内スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－2a(バドミントン他(室内スポーツ	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－2b（テニス他（屋外スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	保健体育科目	【予】健康スポーツⅡ－2c（テニス他（屋外スポーツ））	○					○			○	○	○	○	◎	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール（S）	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	基礎ゼミナール	○			○		○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーA	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーB	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーC	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーD	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーE	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	リテラシー科目	情報リテラシーF	○				○	◎				○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解1（英1A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解1（英1B・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解2（英1A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解2（英1B・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語理解2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現1（英1A・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現1（英1B・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現1（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現2（英1A・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現2（英1B・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語表現2（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合1（英2A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合1（英2B・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合2（英2A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合2（英2B・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	ドイツ語総合2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解1（英1A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解1（英1C・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解1（英1D・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解2（英1A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解2（英1C・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解2（英1D・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語理解2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現1（英1A・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	第二外国語	フランス語表現1（英1C・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現1（英1D・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現1（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現2（英1A・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現2（英1C・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現2（英1D・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語表現2（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合1（英2A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合1（英2C・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合1（英2D・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合2（英2A・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合2（英2C・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合2（英2D・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	フランス語総合2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語理解1（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語理解1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語理解2（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語理解2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語表現1（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語表現1（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語表現2（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語表現2（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語総合1（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語総合1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語総合2（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	スペイン語総合2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語理解1（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語理解1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語理解2（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語理解2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語表現1（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語表現1（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語表現2（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語表現2（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語総合1（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語総合1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語総合2（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	中国語総合2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語理解1（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語理解1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語理解2（比1・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語理解2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語表現1（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語表現1（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語表現2（比1・現）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語表現2（S）	○		○			○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語総合1（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語総合1（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語総合2（比2・現）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第二外国語	韓国・朝鮮語総合2（S）	○		○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	海外・留学英語1（TOEFL）	○	○				○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	海外・留学英語2（TOEFL）	○	○				○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	基礎・実用英語1（英検）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	基礎・実用英語2（英検）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	就職・実務英語1（TOEIC）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	英語検定科目	就職・実務英語2（TOEIC）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	海外語学研修科目	海外語学演習（英語）	○	○	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	海外語学研修科目	海外語学演習（ドイツ語）	○	○	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	海外語学研修科目	海外語学演習（フランス語）	○	○	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	海外語学研修科目	海外語学演習（中国語）	○	○	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	海外語学研修科目	海外語学演習（韓国語）	○	○	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現1A）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現1B）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現1C）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現1D）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現1E）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－1（現S）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現1A）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現1B）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現1C）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現1D）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現1E）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語リーディングⅠ－2（現S）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1A－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1A－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1B－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1B－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1C－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1C－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1D－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1D－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1E－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現1E－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－1（現S）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1A－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1A－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1B－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1B－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1C－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1C－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1D－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1D－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1E－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現1E－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ－2（現S）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現2A）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現2B）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現2C）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現2D）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現2E）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－1（現S）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現2A）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現2B）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現2C）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現2D）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現2E）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語グラマー＆ライティングⅠ－2（現S）	○					○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2A－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2A－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2B－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2B－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2C－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2C－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2D－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2D－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2E－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現2E－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－1（現S）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2A－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2A－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2B－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2B－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2C－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2C－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2D－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2D－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2E－1）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現2E－2）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
共通	第一外国語	英語コミュニケーションⅡ－2（現S）	○					○	○	○		◎	○	○	○	○	
専門	1群（基幹科目）	社会学概論1a		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会学概論1b		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会学概論2a		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会学概論2b		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会福祉概論1		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会福祉概論2		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	メディアリテラシーを学ぶ		○	○		○	○			○	◎	○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会心理学		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会調査の基礎		○	○		◎	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	社会調査の技法		○	○		◎	○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	福祉の社会学		○	○		○	○			◎		○			○	
専門	1群（基幹科目）	現代日本の福祉社会		○	○		○	○			◎		○			○	
専門	1群（基幹科目）	人間形成論		○	○		○	○			◎		○			○	
専門	1群（基幹科目）	日本史1（現）	◎	○	○	○		○		○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	日本史2（現）	◎	○	○	○		○		○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	西洋文化史	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	中国史	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	朝鮮史	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	イギリス史	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	フランス史	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	外国史1	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	外国史2	◎	○	○	○		○	○	○			○			○	
専門	1群（基幹科目）	倫理学概論1	◎	○	○			○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	倫理学概論2	◎	○	○			○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	哲学概論1	◎	○	○			○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	哲学概論2	◎	○	○			○			○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	法学概論（国際法を含む）1	◎	○	○			○	○		○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	法学概論（国際法を含む）2	◎	○	○			○	○		○		○			○	
専門	1群（基幹科目）	日本文化史	◎	○	○	○		○		○	○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	高齢者福祉論		◎	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	障害者福祉論		◎	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	子ども家庭福祉論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	日本近現代史		○	◎	○		○	○				○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	民法	◎	○	○			○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	若者文化論		◎	○	○		○		○		○	○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	地域社会論		◎	○	○		○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会学史1		◎	○	○	○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会学史2		◎	○	○	○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	環境と社会の歴史		◎	○	○	○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	現代社会論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	宗教と社会		○	○		○	○		◎	○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会人類学		○	○		○	○		◎			○			○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー													備考
			知識・理解				技能			思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	地域に関する知識・理解	専門分野に関する知識・技能	問題発見・分析力・解決力	グローバル社会における協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
専門	2群（専門基礎科目）	社会学理論の基礎		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	フィールドワーク入門		○	○	○	◎	○			○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	地域の社会計画		○	○	◎	○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	地方行政と法		○	◎	○		○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	現代生活論		○	◎			○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	家族社会学		◎	○		○	○		○	○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	生涯スポーツ論		○	○		○	○			○		◎			○	
専門	2群（専門基礎科目）	教育と社会		○	○		○	○			○		◎			○	
専門	2群（専門基礎科目）	図書館概論		○	◎		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	文献情報の基礎	○	○	◎		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会情報処理Ｉａ		○			◎	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会情報処理Ｉｂ		○			◎	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会情報処理Ｉｃ		○			◎	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会情報処理Ｉｄ		○			◎	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会保障総論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会保障サービス		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	介護福祉論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	公的扶助論	○	○	○		○	○			◎		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	地域福祉の理論		◎	○	○	○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	地域福祉の方法		○	○	○	◎	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	ソーシャルワークの基盤と専門職		◎	○		○	○			○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		○	○		◎	○			○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		○	○		◎	○			○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		○	○		◎	○			○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	都市社会学		◎	○	○	○	○		○	○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	NPO・ボランティア組織論		◎	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
専門	2群（専門基礎科目）	歴史社会学		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	人文地理学1	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	人文地理学2	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	自然地理学1	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	自然地理学2	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	地誌学1	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	地誌学2	◎	○	○	○		○					○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	社会思想史	○	○	○	○		○			◎		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	憲法	○	○	○			○			◎		○			○	
専門	2群（専門基礎科目）	生涯学習概論		○	○			○			○		◎	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	比較宗教学特殊講義	○	○		○		○		◎	○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	現代のキリスト教社会	○	○				○		◎	○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	高齢期における生活問題		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	子ども虐待防止論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会学理論の応用		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	環境問題と現代社会		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	リスクと社会		◎			○	○			○		○			○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
専門	3群（専門展開科目）	比較社会論		○		○	○	○	○	◎			○			○	
専門	3群（専門展開科目）	比較地域社会計画		○		○		○	◎	○			○			○	
専門	3群（専門展開科目）	地方政策と法		◎		○		○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	観光社会学		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	都市を生きる		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	ジェンダー社会学		◎			○	○			○		○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	情報行動論		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	集合行動論		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	組織社会学		◎			○	○	○		○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	学校と教育問題		◎			○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会教育論		○			○	○			○		○	◎		○	
専門	3群（専門展開科目）	地域社会の形成と教育		○		◎	○	○			○		○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	現代社会と生涯学習	○	○	○		○	○			○		◎			○	
専門	3群（専門展開科目）	文献情報の活用	○	○	○		○	◎			○	○	○			○	
専門	3群（専門展開科目）	医療福祉論		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	医学知識	○	○	◎			○					○			○	
専門	3群（専門展開科目）	権利擁護と成年後見制度		◎	○			○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	福祉行財政と福祉計画		◎	○			○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	福祉サービスの組織と経営		◎	○			○	○		○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	国際福祉援助		○				○	○		○		○	◎		○	
専門	3群（専門展開科目）	NPO・市民活動支援	○	○		○	○	○	○		○		○	◎	○	○	
専門	3群（専門展開科目）	社会問題を考える		○		○	○	○			◎		○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	地方自治体の行財政		○		◎	○	○					○			○	
専門	3群（専門展開科目）	グローバル社会論		○		○		○	◎	○	○		○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	アジアの社会		○		◎		○	○	○	○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	欧米の社会		○		◎		○	○	○	○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会情報処理Ⅱa		○			◎	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会情報処理Ⅱb		○			◎	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会情報処理Ⅱc		○			◎	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会情報処理Ⅱd		○			◎	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	社会情報処理Ⅲ		○			◎	○			○		○			○	
専門	3群（専門展開科目）	地域社会の質的研究		○		◎	○	○				○	○		○	○	
専門	3群（専門展開科目）	スクールソーシャルワーク論		○		○	○	○					○	◎		○	
専門	3群（専門展開科目）	多文化ソーシャルワーク		○		○	○	○	○	◎		○	○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅰa		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅰb		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅱa		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅱb		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅲa		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	相談援助実習指導Ⅲb		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	3群（専門展開科目）	まちづくり論		◎		○	○	○	○	○	○		○	○		○	
専門	3群（専門展開科目）	ナラティブ研究法		◎	○		○	○			○		○			○	
専門	4群（演習科目）	国際社会福祉演習		○				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
専門	4群（演習科目）	社会学の実践a		○		○	○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会学の実践b		○		○	○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	メディア・コンテンツ演習Ⅰ		○		○	○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	メディア・コンテンツ演習Ⅱ		○			○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会学原典演習Ⅰ		○	○		◎	○	○	○			○			○	
専門	4群（演習科目）	社会学原典演習Ⅱ		○	○		◎	○	○	○			○			○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅰa		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅰb		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅰc		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅰd		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅱa		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅱb		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅱc		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会調査演習Ⅱd		○	○		◎	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅰa		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅰb		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅱa		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅱb		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅲa		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅲb		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅳa		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅳb		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅴa		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助演習Ⅴb		○	○		◎	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助実習a		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	4群（演習科目）	相談援助実習b		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎	○	
専門	4群（演習科目）	社会福祉総合演習Ⅰ		◎	○		○	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	社会福祉総合演習Ⅱ		◎	○		○	○			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	専門ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール1		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	

社会学部現代社会学科

社会学部現代社会学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力（4領域14 項目の能力）の総合によって結実する「社会構創力」（※1）を備え、所定の単位を修得した学生に学士（社会学）又は学士（社会福祉学）の学位を授与する。
なお、学士（社会福祉学）は、ソーシャルワーカーとしての専門的知識及び技能を備え、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するために必要な指定科目をすべて修得した学生に授与する。
（※1）多文化共生の持続型成熟社会の構築に向けて、構想力を発揮し、これを創造的に実践する力を意味する。

＜知識・理解＞
1　自己理解と他者理解につながる幅広い教養（※2）を身につけている。（幅広い教養）
（※2）総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。
2　社会学及び社会福祉学の知識と方法を修得している。（専門分野に関する知識・理解）
3　専門分野の知識・理解を修得し、他の分野に応用する力を有している。（専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力）
4　学びのフィールドとした「神奈川」の歴史・文化・社会等を理解し、それを応用することができる。（地域に関する知識・理解）
＜技能＞
5　社会学及び社会福祉学の技能を修得している。（専門分野に関する知識・技能）
6　社会学及び社会福祉学の知識と技能をもとに、問題の発見から問題解決への道筋を立てることができる。（問題発見・分析力・解決力）
7　多文化を理解しグローバルな社会において協働できるコミュニケーション力を有している。（グローバル社会における協働力）
＜思考・判断・表現＞
8　他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を相対化して思考することができる。（多文化での共生）
9　倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。（倫理観、公平・公正な判断）
10　他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。（傾聴と発信）
＜関心・意欲・態度＞
11　生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。（生涯学び続ける意欲）
12　社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。（社会参加への主体性）
13　豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。（チームワーク、他者との協働）
14　問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。（建学の精神の実践、奉仕動機）

科目区分	分野	科目名	ディプロマ・ポリシー 知識・理解 1 幅広い教養	2 専門分野に関する知識・理解	3 専門分野に関する知識・理解と他分野との協働力	4 地域に関する知識・理解	技能 5 専門分野に関する知識・技能	6 問題発見・分析力・解決力	7 グローバル社会における協働力	思考・判断・表現 8 多文化での共生	9 倫理観、公平・公正な判断	10 傾聴と発信	関心・意欲・態度 11 生涯学び続ける意欲	12 社会参加への主体性	13 チームワーク、他者との協働	14 建学の精神の実践、奉仕動機	備考
			◎（当てはまる）　○（一部当てはまる）														
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	
専門	4群（演習科目）	卒論ゼミナール2		○	○		○	◎			○	○	○		○	○	